

# 齋賀医院壁新聞

文献情報と医院案内 齋賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

<< 米国で病原性大腸菌による下痢が流行 | TOP | C型肝炎と新生児 >>

2018年05月08日

## 肺塞栓症の診断；YEARSクライテリア

### 肺塞栓症の診断：YEARSクライテリア

Multicenter Evaluation of the YEARS Criteria in Emergency Department Patients Evaluated for Pulmonary Embolism  
Acad Emerg Med 2018 Mar 31

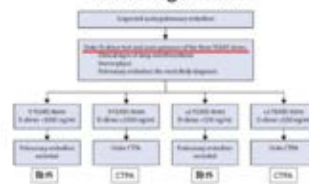


日本も欧米化のせいか肺塞栓症が多くなっています。その原因として、下肢の深部静脈血栓症が多いようです。浅在静脈血栓の場合はその頻度は低いようです。深部静脈の検査はエコーでも3点法などいろいろ工夫されていますが、診断価値としてはCTとなります。しかしCT検査による暴露も懸念され、肺塞栓症の検査前確率が検討されています。有名なWELLSクライテリアですが、やや煩雑で簡略されたのも、年齢でD-Dimerを計算しなくてはならず厄介です。最近では更に簡略化したYEARSクライテリアが推奨され、その有用性を証明した研究が、今回発表されました。WELLSとYEARSのクライテリアは下記にPDF化しましたので、ご参照ください。

### YEARS algorithm の評価項目

評価項目
DVTの臨床所見(下肢の腫脹、圧痛)
他の疾患より、PEが考えられる
WBC > 150 /mm <sup>3</sup>
4週間以内の手術 = 1日以上の臥床状態
DVT and/or PEの既往
検血
既往腫瘍

### YEARS algorithm



取り敢えず、上の赤の項目が一つもなく、且つD-dimerが1000以下の場合はCT検査をしなくてよく、一つでもあり、且つD-dimerが500以上の時はCTを推奨しています。(残念ながら、D-dimerはELISA法でありラテック法ではありません。両者の換算は出来ませんし、コマーシャルベースでは扱っていません。)

前置きはそれまでとして、本論文を纏めてみますと

<< 2019年12月 >>

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

### 最近の記事

- (12/27) [脳卒中の再発予防のための血圧管理](#)
- (12/27) [抗凝固薬と骨折の関係](#)
- (12/25) [COPDの急性増悪の予防のためのβ-ブロッカー](#)
- (12/23) [インフルエンザ流行の拡大](#)
- (12/21) [結腸憩室炎の予防と食事の関係](#)

### 最近のコメント

- [過睡眠は脳卒中の危険因子](#) by (12/22)
- [過睡眠は脳卒中の危険因子](#) by (12/22)
- [結腸憩室炎の予防と食事の関係](#) by (12/22)
- [舌圧子とK-ポイント](#) by (12/14)
- [non-HDLコレステロールと心血管疾患のリスク管理](#) by (12/10)

### タグクラウド

### カテゴリ

- [小児科](#) (186)
- [循環器](#) (192)
- [消化器・PPI](#) (114)
- [感染症・衛生](#) (65)
- [糖尿病](#) (108)
- [喘息・呼吸器・アレルギー](#) (81)
- [インフルエンザ](#) (94)
- [肝臓・肝炎](#) (60)
- [薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導](#) (43)
- [脳・神経・精神・睡眠障害](#) (38)

整形外科・痛風・高尿酸血症(28)  
 ワクチン(30)  
 癌関係(10)  
 脂質異常(27)  
 甲状腺・副甲状腺(17)  
 婦人科(8)  
 泌尿器・腎臓・前立腺(29)  
 熱中症(7)  
 日記(17)  
 その他(62)

過去ログ

2019年12月(14)  
 2019年11月(15)  
 2019年10月(18)  
 2019年09月(18)  
 2019年08月(14)  
 2019年07月(14)  
 2019年06月(16)  
 2019年05月(14)  
 2019年04月(18)  
 2019年03月(19)  
 2019年02月(19)  
 2019年01月(15)  
 2018年12月(16)  
 2018年11月(20)  
 2018年10月(20)  
 2018年09月(18)  
 2018年08月(24)  
 2018年07月(18)  
 2018年06月(18)  
 2018年05月(20)  
 2018年04月(19)  
 2018年03月(20)  
 2018年02月(14)  
 2018年01月(14)  
 2017年12月(20)  
 2017年11月(17)  
 2017年10月(22)  
 2017年09月(18)  
 2017年08月(20)  
 2017年07月(23)  
 2017年06月(19)  
 2017年05月(19)  
 2017年04月(22)  
 2017年03月(20)  
 2017年02月(18)  
 2017年01月(21)  
 2016年12月(17)  
 2016年11月(25)  
 2016年10月(22)  
 2016年09月(21)  
 2016年08月(20)  
 2016年07月(26)  
 2016年06月(27)  
 2016年05月(24)  
 2016年04月(24)  
 2016年03月(25)  
 2016年02月(23)  
 2016年01月(23)  
 2015年12月(22)  
 2015年11月(21)  
 以降はカテゴリーで検索してください。

[RDF Site Summary](#)

1) 米国の17の救急施設を対象に、肺塞栓症の疑いの1,789名を調べています。平均年齢は48歳。対象者はD-dimerを実施するためWELLSのスコアー6以上 (high) は除外しています。またYEARSでは、D-dimerはダブルスタンダードで500と1000に基準設定しています。

2) YEARSクライテリアで、陰性は1235/1789(69%)、陽性は554/1789(31%) 陽性の中で深部静脈血栓所見は、142(26%)、血痰は49(9%) 肺塞栓症以外考えられない場合は、403(73%)の比率でした。肺塞栓症の確定診断は、84名(全体の4%)でした。クライテリアの陽性の場合の確定診断は、84/554(15%)

3) 結論的には肺塞栓症の見逃しは WELLSでは2%(2/84)、YEARSでは7%(6/84)とYEARSがやや多いのですが、無駄なCT検査を47%から33%に14%減少させています。詳細は下記のPDFのグラフをご参照ください。

私見) 毎回残念な事ですが、開業医の限界でしょうか、D-dimerのELISA方は行う事が出来ません。しかし、ラクテック法でも色々組み合わせる事により検査前確率を上げられるとする文献もあり、本院のクライテリアを作るしかありません。但し、高齢者では元来D-dimerが高値である点に注意が必要となります。

尚、本論文中にゲシュタルト的診断法が書かれています。そのため、「肺塞栓症以外に考えられない。」とする項目があり、それを解析しています。(私が、長い女性遍歴の末に家内を選んで結婚したのではないのです。チョッピリ魅力的な彼女と結婚したのは、ゲシュタルト的につまりその時点で全人格的に、彼女以外に結婚する相手がいなかったからなのです。)

岩田氏の著書に詳しく載っていましたので下記に掲載します。つまり肺塞栓症は名医、名人の領域のようです。

表2 静脈血栓症診断における各種D-dimer測定の有効性

研究(発表年)	症例数	PTEの割合 (%)	感度 (%)	特異度 (%)	陽性的中率 (%)
Velox D-dimer(迅速ELISA法)					
De Maesseneら (1995)	195	23	100	38	100
Wallisら (2000)	129	23	97	26	96
Sijensら (2000)	342	-	90	45	94
Latex D-dimer(ラテックス免疫比濁法)					
Reberら (1998)	501	30	99	43	99
Meyerら (1998)	142	42	93	43	90
Ogerら (1998)	386	38	100	25	100
Holtら (2000)	105	-	100	17	100

PTE: 肺血栓症

本院クライテリアの試案  
 ○ D-dimer (ラクテック法) のcut-off値以下の場合  
 ドブラーエコーで陽性所見 (深部静脈が圧迫出来ない) の時は紹介  
 陰性所見の時は経過観察  
 ○ D-dimerがcut-off値以上の場合  
 下肢浮腫で紹介  
 ○ 高齢者ではドブラー検査で陽性所見の時紹介

★参考文献

診断のゲシュタルトとデギュスタシオン：岩田健太郎 編集 金芳堂

[1d-dimer.pdf](#)

[RSS 2.0](#)

[2PEのアルゴリズム.pdf](#)

[3ゲシュタルト.pdf](#)



 [ブックマーク](#)

**【循環器の最新記事】**

- ※ [抗凝固薬と骨折の関係](#)
- ※ [慢性心不全薬の適正量の男性と女性の比較](#)
- ※ [冠微小循環障害；Coronary Mic...](#)
- ※ [コルヒチン（痛風治療薬）の心筋梗塞後の効...](#)
- ※ [脳血流自己調節能について考察](#)

posted by 齋賀一 at 20:37 | [Comment\(1\)](#) | [循環器](#)

この記事へのコメント

先生、奥様は女性の私からみてもとても素敵な方だと思いますよ～  
センスも良くて憧れちゃってます(\*^.^\*)

所作も美しく、いつも見習わなくてはと思っておりますが、私は根本ががさつなもので厳しいです  
ね...(^o^;)

あっという間にGWも終わっちゃいましたね...次の連休までだいぶ遠いですね(-.-)

Posted by at 2018年05月09日 00:20

コメントを書く

お名前:

メールアドレス:

ホームページアドレス:

コメント:



